

補助事業番号 20-2-076

補助事業名 平成20年度在宅介護活動の研修等 補助事業

補助事業者名 財団法人さわやか福祉財団

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

急速な少子高齢社会の到来に伴い、高齢者の一人暮らしや高齢世帯が増えております。老いてもなお住み慣れた地域で安心して暮らしていける社会を構築するためには、相互扶助を目的とした市民互助団体が全国に数多くできることが必要です。

そのために、変化する福祉の動向に伴った①市民互助団体の少ない地域への掘り起こしを目指す「地域ささえあい研修会・Aプログラム」②地域で高齢者支援に取り組んでいる団体のネットワーク強化「地域ささえあい研修会・Bプログラム」③インストラクターの資質向上を目指した補講研修及び養成研修④情報、ノウハウの提供、意識の啓発および参加促進を働きかける冊子を作成する。こうした提起を繰り返し行うことで、必要な改善・改革を進め、社会福祉の増進に寄与することを目的とします。

(2) 実施内容

ア. ボランティア団体の責任者・設立指導者の研修会の開催

A) 地域たすけあいリーダー研修会の開催（地域ささえあい研修会Aプログラム）

全国で9回開催。

B) 地域包括ケアセミナーの開催（地域ささえあい研修会Bプログラム）全国で6回開催。

C) インストラクター研修会の開催

ア. 全国で13回開催。

イ. 地域助け合いシステムづくりに向けた情報誌発行

月刊で12号（各10,000部）の発行。

2. 予想される事業実施効果

ア. ボランティア団体の責任者・設立指導者の研修会の開催

今年度は「地域ささえあい研修会」は無事9回開催することができた。延べ600名弱の参加者があり、反響も多く寄せられた。参加された方から、市民互助団体を立ち上げも30件に上った。今後も引き続き全国各地に市民互助団体が立ち上がると予想される。

イ. 地域助け合いシステムづくりに向けた情報誌発行

読者の性別、年齢、職業、地域等も多岐にわたるため、読者ニーズを満たすことは難しい。目標に沿ったテーマ設定を行い、毎号の編集の中で多様性を持たせるなどを行うことで、目標達成に努めることができた。

3. 本事業により作成した印刷物

問題提起型情報誌「さあ、言おう」を月刊で12号（各10,000）の発行

4. 事業内容についての問い合わせ

団体名：公益財団法人さわやか福祉財団

住所：105-0011

東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館7階

代表者名：理事長 堀田 力

担当部署：ふれあい推進事業

担当者名：プロジェクトリーダー 木原 勇

電話番号：03-5470-7751

F A X：03-5470-7755

E-mail：kihara@sawayakazaidan.or.jp

U R L：<http://www.sawayakazaidan.or.jp>